

「日本女性会議 2027 丸亀」第 4 回実行委員会報告

開催日時: 令和 8 年 8 月 17 日(月) 午後6時 30 分~8 時 05 分

場 所: 丸亀市役所 4 階特別会議室

出 席 者: 実行委員 16 名

欠 席 者: 実行委員 4 名

議 題: 各部会の進捗報告について

①総務部会

- ・事業予算(概算)について
- ・参加負担金等の価格設定及び特別料金の適用について
- ・協賛金について(進捗報告・接点リスト依頼)
- ・実行委員会の名刺について

②企画部会

- ・プレ大会当日について
- ・「特別講演会」の登壇者について
- ・大会の日程案について

③広報部会

- ・プレ大会のチラシおよびポスターについて
- ・大会 PR 動画について
- ・大会公式インスタグラムについて

議事の概要及び議決の結果は次のとおり

各部会の進捗報告について

①総務部会

- ・事業予算(概算)について資料 1-1 に基づき事務局より説明。

全員異議なく、承認された。

(実行委員長)

これまでも説明があったと思うが、改めて確認したい。この予算は檀原大会を参考に作成しているとのことであるが、現在の物価上昇なども考慮した予算となっているのか。

(事務局)

はい。基本的には檀原大会を参考としているが、現在の物価上昇等も考慮しながら積算している。

- ・参加負担金等の価格設定及び特別料金の適用について資料 1-2 に基づき説明。

(実行委員長)

檀原大会では市民参加枠の定員や金額が途中で変更になっているが、どのような状況だったのか。

(事務局)

檀原大会では、議会からの提案があり、募集開始後に運用変更が行われたと聞いている。そのため、事務局では急遽対応が必要となり、かなりの事務作業が発生したとのことである。本市では、そのような事例も参考にしながら対応を検討したいと考えている。

全員異議なく、承認された。

・協賛金について(進捗報告・接点リスト依頼)

(事務局)

8月中旬以降、企業の来年度予算編成時期に合わせて、本格的な協賛金募集を開始したいと考えている。協賛候補企業一覧を基に協賛活動を進める予定であり、委員の皆様には企業・団体の紹介や訪問時の協力をお願いしたい。なお、協賛候補企業等の情報提供(資料1-3-1~3協賛候補企業_接点お伺いシート)については、8月31日(月)を期限として提出をお願いする。

全員異議なし。

・実行委員会の名刺について

(事務局)

今後の協賛活動等に向け、実行委員用の名刺を作成する予定である。なお、名刺には大会公式ホームページのQRコードを掲載し、企業や団体への挨拶、大会PR及び関係者とのネットワークづくり等に活用していただきたいと考えている。9月中には配付できるよう準備を進めている。

全員異議なし。

②企画部会

・プレ大会当日について、周知チラシを基に事務局より説明。

(事務局)

委員の皆様には、本大会のイメージを持っていただく機会としてぜひ参加してほしい。また、高尾美穂氏の特別講演後には質疑応答の時間を設けることとしている。一般参加者から質問が出ない場合には、実行委員の皆さんに質問をお願いしたい。来場の際は、市役所駐車場又は周辺有料駐車場を利用するようご協力をお願いする。

全員異議なし。

・「特別講演会」の登壇者について資料2-1に基づき事務局より説明。

(委員)

候補者によって講演とトークショーでは内容も大きく変わるのではないかと。また、社会的な話題性や発信力なども含めて検討する必要があるのではないかと。

(事務局)

候補者選定に当たっては、講演内容や大会テーマとの関連性なども踏まえながら検討していきたい。

(委員)

現時点の候補者から第1候補者を決定しても、年明けまで予定の確定ができないため、最終的に出演が難しくなる可能性は十分考えられる。そのため、現時点で確実に予定を押さえることができる第2候補者についても、並行して検討しておいた方がいいと思う。講師候補の選定については、この場で決定するのではなく、企画部会で改めて協議した上で実行委員に情報共有し、意見を伺う形がよいのではないかと。

(実行委員長)

私もその方法がよいと考える。今この場で順位を決めることには違和感がある。

(事務局)

それでは、企画部会で再度協議し、その結果を実行委員へメール等で共有して意見を伺いたい。また、現在調整を進めている候補者に加え、新たな候補者の提案があれば、別紙に記入の上、8月21日(金)までに事務局へ提出願いたい。なお、提出は任意とし、いただいた提案については企画部会で協議を行い、今後の登壇者選定の参考としたい。

全員異議なし。

・大会の日程案について資料2-2、2-3に基づき、4つの案を事務局より提案。

(事務局)

大会参加者数は約1,600人を見込んでおり、県内参加者1,200人、県外参加者400人程度を想定している。県外参加者については、中四国地域からの参加が中心で、主に新幹線等の交通機関を利用することが想定されるため、参加者の移動や前泊・後泊の負担を考慮し、大会1日目の開始時刻及び2日目の終了時刻を設定している。また、施設の利用時間や分科会及び全体会の運営方法等を踏まえ複数の日程案を作成しており、休憩時間については昼食や会場移動、物産展の利用等を考慮し、両日とも60分程度確保したいと考えている。

(実行委員長)

(大会日程案③について)1日目の交流会の終了時刻が21時というのは少し遅いように感じる。オークラホテル丸亀からの移動もあるため、県内参加者も含めて帰宅時間への

影響が気になる。21時過ぎに電車へ乗ることになるのはあまり好ましくないのではないか。
(事務局)

交流会や分科会等の時間については、委員の皆様からの意見も踏まえながら調整したいと考えている。

(委員)

この件については企画部会でも議論を行った。最大の論点は大会2日目の終了時刻である。例えば、東京方面へ帰る参加者については飛行機や新幹線の利用が想定されるため、終了時刻が16時50分以降となると、閉会式の途中で退席したり、閉会式前に会場を離れたりする参加者が出る可能性がある。こうした状況を避けるため、事務局において移動時間や全体のバランスを考慮した複数の日程案を作成いただいた。実行委員長から意見のあった交流会終了後の移動時間等も含めて検討しており、こうした点を踏まえて本日は皆様にご議論いただきたい。

(事務局)

県外参加者の移動については、高松空港を利用する場合や岡山駅から新幹線を利用する場合など、いくつかのケースについてシミュレーションを行っている。中四国圏内からの参加者が中心になると考えているが、参加しやすい日程となるよう検討している。

(委員)

確かに交流会については、開始時刻や終了時刻が少し遅いように感じる。こうした会は予定どおり進行しないことも多いため、その点が心配である。

(委員)

(大会日程案④について)分科会を2日目に開催した場合、分科会終了後に全体会で使用する報告用スライドを作成することになるが、限られた時間の中で作成が間に合うのか。

(事務局)

分科会報告用の資料については、事前に作成できる部分はあらかじめ準備し、分科会終了後に必要な修正を行うことを想定している。受託事業者とも協議しているが、非常に短時間での作業となるため、不可能というわけではないが、分科会を2日目に配置する案については運営上懸念がある。

大会日程案については、本日はいただいた意見を踏まえ、企画部会において引き続き協議を行い、最終的な日程案を決定したいと考えている。

全員異議なし。

③広報部会

・プレ大会チラシ、ポスターについて資料3-1に基づき事務局より説明。

(事務局)

本日、委員の皆様にはチラシを10部配付している。所属団体や関係機関等への配付に

ついて協力をお願いする。追加でチラシやポスターが必要な場合は事務局まで申し出願いたい。また、本日持ち帰りが可能な場合は、必要部数及び配付先を各部会担当者へ伝えてほしい。なお、チラシ及びポスターのデータについても、必要に応じて提供する。

(実行委員長)

ホームページを拝見した。チラシのデータは大会公式ホームページにも掲載されているのか。また、ダウンロードも可能なのか。

(事務局)

今週中には掲載し、ダウンロードも可能にする。

全員異議なし。

・大会 PR 動画について資料3-2、3-3 に基づき事務局より説明。

(事務局)

映像は 16 対 9 の横長サイズとし、本編は 3 分から 5 分程度の長さを予定している。また、SNS 用として 15 秒程度のショート動画も 1 本作成する予定であり、本編への誘導を目的とした内容としたい。動画については、大会公式ホームページのデザインに合わせて亀のフレームを使用するなど、大会全体の統一感を持たせることを考えている。完成した動画は、プレ大会での上映をはじめ、市公式 YouTube、大会公式ホームページ及び大会公式インスタグラム等への掲載を予定している。

(委員)

インタビューの候補者については、中学生・高校生、高齢者、事業者、移住者など幅広い世代が挙がっているが、子育て中や介護をしている方などできるだけ多様な視点が入るようにしてほしい。

(委員)

移住者についても、子育て世帯や三世帯世帯、Uターン者など、どのような層を発信したいのかを意識した人選が必要ではないかと思う。また、事業者や移住者だけでなく、地域で普通に暮らしている家族の姿も見えるような構成が望ましい。動画全体として世代間や家族構成のバランスを意識し、その考え方を事務局から制作事業者へしっかり伝えてほしい。

(委員)

PR 動画については、丸亀市の紹介だけでなく、日本女性会議本大会がどのような大会なのか、その内容や雰囲気も伝わるような構成を検討してほしい。

(委員)

「日本女性会議」という名称だけでは女性限定の集まりという印象を持たれる場合もあるため、インタビュー候補者の男女比など、誰もが参加し、関わることのできる大会であることが伝わる工夫も必要ではないか。

(事務局)

今後の出演者選定や動画構成の検討に当たり、参考としたい。

(委員)

案の段階であるが、資料を確認すると一部で曜日と日付が一致していない箇所が見受けられるため、確認をお願いしたい。

(事務局)

確認のうえ修正を依頼する。

(事務局)

PR 動画については、引き続き広報部会を中心に制作を進めていく。完成した映像については、プレ大会前に実行委員の皆様へお見せできると思うので、その際に改めて案内したい。

・大会公式Instagramについて資料3-4、3-5、3-6に基づき事務局より説明。

(事務局)

初回の投稿内容として、「日本女性会議 2027 丸亀開催決定」、「日本女性会議とは」及び「プレ大会開催のお知らせ」を予定している。実行委員の皆様にも掲載内容の提案をお願いしたい。投稿案については、タイトル、投稿目的、投稿文案、写真や画像の有無等を所定様式に記入の上、事務局へ提出してほしい。掲載案については8月31日(月)までを一旦の期限としているが、それ以降も随時受け付けたいと考えている。

(委員)

大会公式Instagramの掲載案については、日本女性会議に直接関係する内容だけでなく、丸亀市の魅力やおすすめスポットの紹介などについても提案してよいのか。

(事務局)

日本女性会議に関する内容だけでなく、丸亀市の魅力発信につながる内容についても幅広く提案してほしい。観光や移住、地域資源の紹介などについても掲載していきたいと考えている。

(委員)

日本女性会議という名称だけを見ると、女性だけが参加する会議という印象を持たれることがある。女性だけの会議ではなく、誰もが参加できる大会であることが伝わるような発信をしてほしい。

(事務局)

大会の意義や目的が正しく伝わるよう、発信内容について検討していきたい。

(委員)

PR動画についても、丸亀市の紹介だけでなく、日本女性会議がどのような大会なのか、大会の内容や意義が伝わるような内容があるとよいのではないかと。

(事務局)

様々な場面で活用できる動画となるよう制作を進めているところであり、大会の意義等についても発信できるよう工夫していきたい。

(委員)

現在の SNS の利用状況を考えると、インスタグラム以外の SNS の活用も検討してはどうか。

(事務局)

情報発信手段について検討した結果、即時性や利用者数等を考慮し、現時点では大会公式ホームページと大会公式インスタグラムを中心に運用したいと考えている。

(委員)

インスタグラムとフェイスブックを連携させる機能があったかと思う。そちらを活用すれば、より幅広い年代へ情報を届けられるのではないかな。

(事務局)

フェイスブックとの連携については、今後の運用の参考としたい。

(委員)

実行委員会の様子なども積極的に発信した方がよいのではないかな。

(事務局)

今後の実行委員会や各種会議についても、写真撮影を行った上で積極的に発信していきたい。

(事務局)

大会公式インスタグラムについては、本日説明した運用方針に基づき運用していきたいと考えているため、協力をお願いしたい。

全員異議なく、承認された。

・その他

(委員)

学生の参加費は無料とのことであるが、弁当代についても無料となるのか。また、大会日程案にあるオープニングアトラクションについて、どのような内容を想定しているのか。

(事務局)

学生については参加費を無料としているが、弁当を希望する場合は実費負担をお願いする予定である。

また、オープニングアトラクションについては、大会に華やかさを添える内容を想定している。橿原大会ではダンスや吹奏楽の演奏などが行われており、本大会においても講演会だけでなく、20分程度の演奏やダンス等の実施を検討している。現在、企画部会委員の皆様から意見を伺っており、この後の部会でも協議を行う予定である。内容が決まり次第、改めて共有したい。

(委員)

大会ノベルティについて、現在候補となっているクリアファイルとウェットティッシュは良いと思う。以前の部会でもウェットティッシュがあるとよいのではないかなという意見を述べたが、

その意見を反映していただいたものと考えている。委員の皆様においても、意見があれば、出していただきたい。

（事務局）

現時点では、ウェットティッシュとクリアファイルを基本として検討を進めている。クリアファイルには当日配布資料を封入し、クリアファイル及びウェットティッシュを大会用封筒に入れて参加者へ配布したいと考えている。

全員異議なし。

（事務局）

次回の実行委員会の開催日については、議題等を整理した上で、改めて日程調整を行う。